

過去の出題傾向について確認しておこう！

阪大入試研究[英語]

▶ 出題一覧表

過去 10 年の大阪大学の入学試験(英語)の出題形式を次の表にまとめた。

	I (読解) 全学部共通	II (読解) 下段は外国語学部	III (英作文) 全学部共通	IV (英作文) 下段は外国語学部	V (リスニング) 外国語学部のみ
2016	下線部和訳(A/B)	長文読解(約 550 語) 長文読解(約 1480 語)	自由英作文 (70 語程度)	和文英訳(A/B) 和文英訳(3 問)	リスニング (約 530 語)
2015	下線部和訳(A/B)	長文読解(約 610 語) 長文読解(約 1220 語)	自由英作文 (70 語程度)	和文英訳(A/B) 和文英訳(3 問)	リスニング (約 460 語)
2014	全文和訳(A/B)	長文読解(約 690 語) 長文読解(約 1180 語)	自由英作文 (70 語程度)	和文英訳(A/B) 和文英訳(3 問)	リスニング (約 590 語)
2013	下線部和訳(A/B)	長文読解(約 730 語) 長文読解(約 1030 語)	自由英作文 (70 語程度)	和文英訳(A/B) 和文英訳(3 問)	リスニング (約 730 語)
2012	下線部和訳(A/B)	長文読解(約 600 語) 長文読解(約 820 語)	自由英作文 (70 語程度)	和文英訳(A/B) 和文英訳(3 問)	リスニング (約 600 語)
2011	下線部和訳(A/B)	長文読解(約 620 語) 長文読解(約 1300 語)	自由英作文 (70 語程度)	和文英訳(A/B) 和文英訳(3 問)	リスニング (約 500 語)
2010	下線部和訳(A/B)	長文読解(約 580 語) 長文読解(約 570 語)	自由英作文 (70 語程度)	和文英訳(A/B) 和文英訳(3 問)	リスニング (約 440 語)
2009	下線部和訳(A/B)	長文読解(約 560 語) 長文読解(約 800 語)	自由英作文 (70 語程度)	和文英訳(A/B) 和文英訳(3 問)	リスニング (約 400 語)
2008	下線部和訳(A/B)	長文読解(約 630 語) 長文読解(約 650 語)	自由英作文 (70 語程度)	和文英訳(A/B) 和文英訳(4 問)	リスニング (約 340 語)
2007	下線部和訳(A/B)	長文読解(約 600 語)	自由英作文 (70 語程度)	和文英訳(A/B)	

※ 2007 年 10 月に大阪外国語大学は大阪大学・外国語学部として統合されました。大阪大学・外国語学部の入試は 2008 年度から実施されています。

▶ 分析と対策

- I…(A/B)の 2 題出題され、それぞれ下線部分ないしは全文を和訳する英文和訳問題。比較的複雑な文構造を含む英文の出題が多く、**精読力**が問われる。構文学習を通じて正確な英文解釈力を身につけよう。
- II…選択問題と記述問題からなる長文読解総合問題。外国語学部は独自問題で、すべて内容理解を問う記述問題からなり記述量が多い。長文の内容を理解し、その内容を日本語でまとめる**要約力**が求められる。
- III…日本語または英語で与えられたテーマについて 70 語程度で述べる自由英作文。最近のテーマは、2016 年「知識をもつことで得られる力」、2015 年「これからの社会が直面する問題や困難」、2014 年「他人は自分をわかってくれないと思う時」、2013 年「タイムマシンがあれば」、2012 年「今までに最も誇りに思ったこと」である。英語の正しさに加えて、**筋道の通った分かりやすい構成の文章を書く**ことが大切。
- IV…和文英訳問題で、(A/B)の 2 題出題され、(B)は文学部とその他の学部で問題が異なる。また、外国語学部は独自問題で、1 つの文章の 3、4 箇所の下線部を英訳する。外国語学部とその他の学部で大きな難易度の差はなく、どの学部も**日本語を解釈して英語にしやすいようにパラフレーズする力**が求められる。
- V…外国語学部のみ。読み上げられる英文を 2 回聞いて、問題冊子に印刷された日本語の設問に日本語で答える問題が出題される。難度は高くないが、記述解答となるので**メモの取り方や時間配分など解答手順を練習**しておこう。